

基本目的 9 行政機能が高くなる

行動目標 9-2 公正で効率的な行政運営を行う

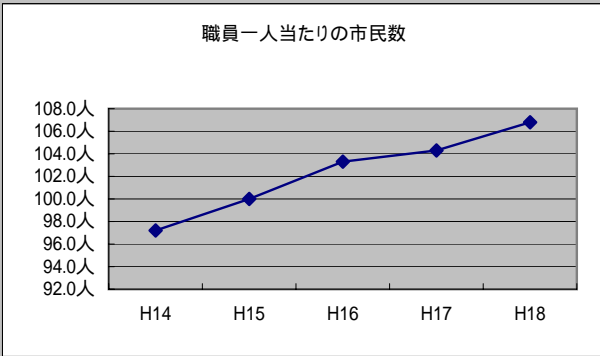
(所管課名 総務部人事課)

任務	職員の効率的な活用を図る
-----------	---------------------

任務の成果・活動指標の推移

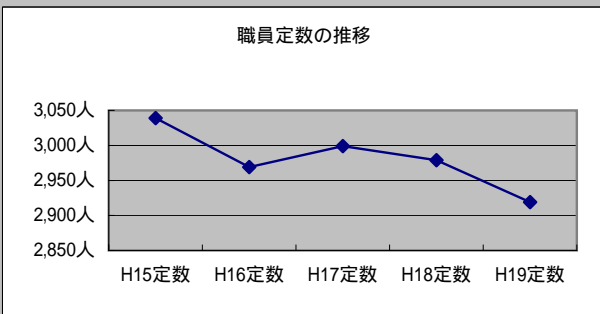
職員一人当たりの市民数

H14実績	97.2人
H15実績	100.0人
H16実績	103.3人
H17実績	104.3人
H18目標	106.8人



職員定数の推移

H14実績	H15定数	3039
H15実績	H16定数	2969
H16実績	H17定数	2999
H17実績	H18定数	2979
H18目標	H19定数	2919



指標の説明

「職員の効率的な活用を図る。」との任務目的に基づき、市民サービスへの効率性を測る尺度として「職員一人当たりの市民数」を用いた。また、より理解が深まるように「職員定数の推移」も示した。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

職員の経験や適性、能力を重視し、適材適所の人材配置を行い、有効な人材活用を図ることができた。

職員定数については目標である各年度60人以上、3ヶ年で180人以上の削減を行うことができた。

H15 定数 3039	実員 2974
H16 定数 2969(楠135)	70 実員 2891(楠103)
H17 定数 2999	105 実員 2910
H18 定数 2979	20 実員 2833

* ()内楠は外数

平成18年度

これまで、ほぼ目標どおりの成果を挙げてきたが、集中改革プランにおいて、職員数を平成17年度から平成21年度までの5年間で中核市移行事務を除き、10%以上(毎年2%以上)削減することを目標に掲げている。

一律的なカットは時間外勤務の増加等を招くことから集中改革プランに掲げた事業の外部委託化の確実な実施とさらなる事業内容の検討(外部委託、民営化等)により、業務の進め方の改善を行政経営課とともに各部への支援を行っていく必要がある。

これからの課題、施策等展開の方向性

職員の経験や適性、能力を重視し、適材適所の人材配置を行い、有効な人材活用を図る。

事務事業の精査による効率化と外部委託化・民営化の推進を図る。